

# 内定者の声

令和8年度入省予定 総合職理工系

# はじめに

「内定者の声」を手に取っていただき、ありがとうございます。  
本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験とはどのようなものか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。  
ぜひご参考にしてください！

2025年12月 環境省総合職理工系内定者一同

## 本冊子の構成

### はじめに

### 第1部 内定者を知ろう！（P.1～P.19）

- 内定者の基本データ（男女比率 等）
- 就活事情
- 環境省への志望理由

### 第2部 公務員試験を知ろう！（P.20～P.30）

- 内定者の公務員試験基本データ（試験区分 等）
- 勉強量について
- 勉強内容・試験内容について

### 第3部 官庁訪問を知ろう！（P.31～P.40）

- 環境省の官庁訪問について
- 内定者の官庁訪問基本データ（併願先 等）
- 官庁訪問参加者による座談会

### おわりに



# 第1部

# 内定者を知ろう！



# 第1部 内定者を知ろう！

令和8年度入省予定の総合職理工系内定者は、全16名となりました。

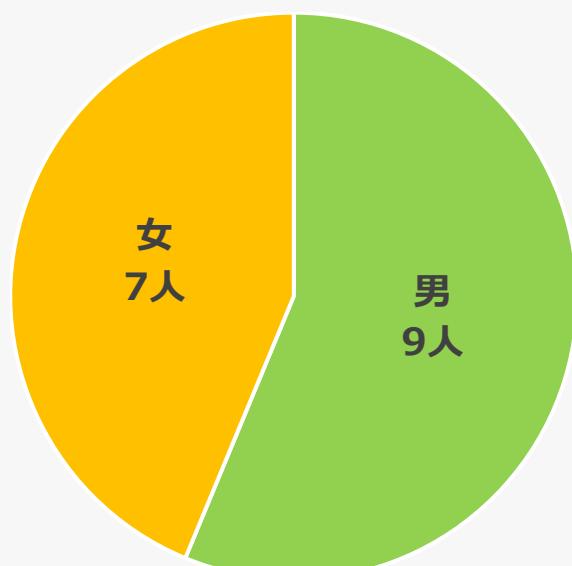
第1部では、まず今年の内定者の内訳をデータとして概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。

また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。

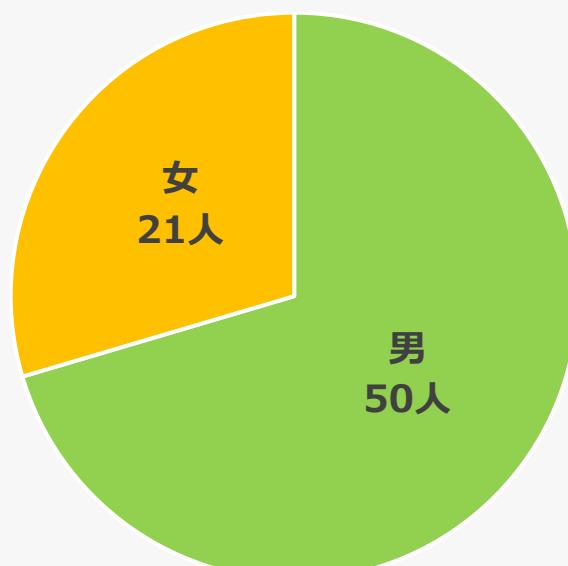
## □ 内定者の基本データ

### □ 男女比

令和8年度入省予定内定者

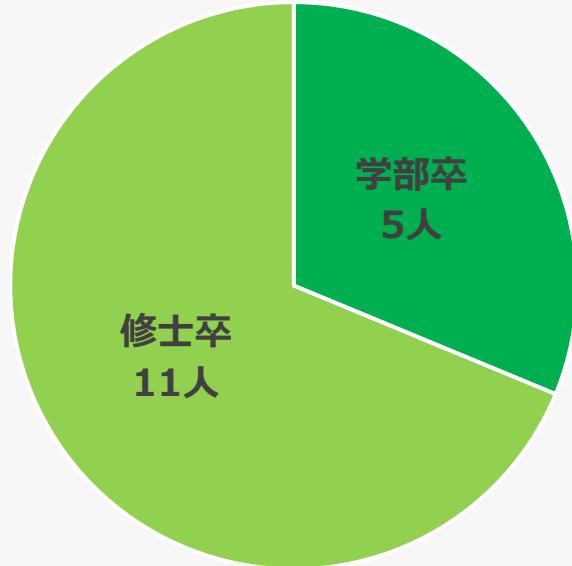


令和8年度訪問者数

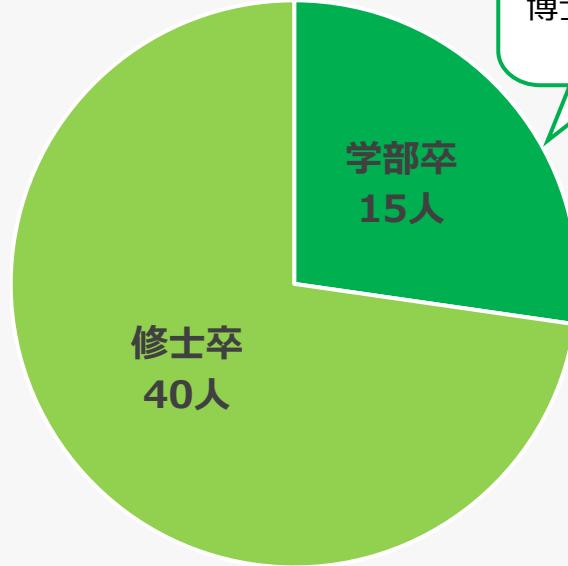


### □ 最終学歴

令和8年度入省予定内定者



過去5年間



博士課程中退で入省している人や、過去には博士卒での入省も例が多くあります！

# No.1 ほん（24歳・女）

## ● プロフィール

<b>試験区分</b>	教養
<b>大学所在地</b>	京都府
<b>学部/研究科</b>	農学研究科
<b>学科/専攻</b>	農学専攻
<b>研究内容</b>	キャベツの花成制御メカニズム の解明
<b>出身地</b>	千葉県
<b>部活動</b>	バレーボール(中学)、水泳(高校)
<b>サークル</b>	猫サークル



## ● 就活事情

<b>併願先(民間)</b>	食品メーカー
<b>併願先(他省庁)</b>	農林水産省、千葉県(農業職)
<b>インターン参加先</b>	なし

### 就活の経験談

院卒ですが教養区分(大卒)を受験して早めに合格できたので、説明会にたくさん参加したり、官庁訪問の準備を十分に行ったりすることができました。

## ● プライベート 趣味/特技

遊園地・テーマパーク、  
読書、野球観戦

## 好きなもの

猫（実家に9匹います！）  
食べること

## ● 環境省への志望理由

小さいころから自然や生き物が好きで、人間活動によって地球環境が破壊されていることに危機感を持っていたことがきっかけです。環境問題に関心のない人が意外にも多いことを実感し、多くの人が関心を持って主体的に環境に配慮した行動ができる世の中を実現したいと考えていたところ、環境を軸に大きなスケールで考え、多くの人に影響を与えられる環境省の仕事に魅力を感じました。また自分が人生をかけてやってよかったと思える仕事かどうかを考えた時に、環境省の仕事が一番しっくりきたことも志望した理由の1つです。

# No. 最北端海豹（23歳・男）

## ● プロフィール

試験区分 工学区分

大学所在地 北海道

学部/研究科 工学部

学科/専攻 環境社会工学科

研究内容 Ex-situでのバイオガスアップ

グレーディングに向けた新規膜分離

バブルカラムリアクターの開発

出身地 群馬県

部活動 硬式庭球部

サークル なし



## ● 就活事情

併願先(民間) なし

併願先(他省庁) 国土交通省

インターン参加先 環境省、国土交通省、民間企業

### 就活の経験談

見せたい自分と見せられる自分を軸に取り組むことが大切  
だと思います。また、いろいろな職種の説明会に参加する  
とより自分の働きたいところが見えてくると思います。

## ● プライベート 趣味/特技

テニス

トレーニング

## ● 好きなもの

寿司

きれいな景色

## ● 環境省への志望理由

幼少期に川で遊んだ経験から水環境保全に関心を持ち、大学では下水汚泥の資源化について研究していました。民間企業や環境省などの説明会に参加し、環境省であれば環境を第一に考えて働くことができると思ったため志望しました。また、環境省であれば、水、大気、土壤といった環境保全や資源循環、福島復興、脱炭素など幅広い分野で働くことができることも決め手の一つとなりました。

# No.3 ちや（22歳・女）

## ● プロフィール

試験区分	教養
大学所在地	茨城県
学部/研究科	生命環境学群
学科/専攻	地球学類
研究内容	間伐による土壤水分動態の変化と 林内水収支の推定
出身地	神奈川県
部活動	卓球（中学～高校）
サークル	自然教育ボランティア



## ● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	農林水産省・国土交通省
インターン参加先	環境省・国土地理院

### 就活の経験談

秋合格で余裕はあったものの、課題や研究室との両立が難しかったです。採用イベントで都内に出たらおいしいものを食べることをご褒美にしていました。

## ● プライベート 趣味/特技

街歩き  
読書  
アロマテラピー

## 好きなもの

雨上がりの朝の  
森の香り

## ● 環境省への志望理由

環境はすべての人や生物の基盤であるため、幅広い分野に関われる点に魅力を感じました。私は人間活動と環境の相互作用に关心を持ち、大学でも水や物質循環などについて学んできました。研究サイトの福島をはじめとした現場への訪問を重ねる中で、政策展開の上での科学的知見の重要性と、他方での理解醸成の難しさを実感し、バランスの取れた政策の実現に携わりたいと考えるようになりました。

# No.4 しろばん（23歳・女）

## ● プロフィール

試験区分	工学
大学所在地	神奈川県
学部/研究科	理工学研究科
学科/専攻	応用化学専攻
研究内容	キトサンとアミノ酸のハイブリッド 膜の水蒸気収着特性に関する研究
出身地	東京都
部活動	体育会女子ラクロス部（～大学2年の春）
サークル	特になし



## ● 就活事情

併願先(民間)	なし（学部3年時に数社）
併願先(他省庁)	経済産業省
インターン参加先	経済産業省（一般職）

### 就活の経験談

経済産業省と併願したことで、環境問題の解決に関する取り組みのすみ分けや、環境問題に関する考え方の違いを学ぶことができ、非常に有意義な就活になりました。

## ● プライベート

### 趣味/特技

海外一人旅  
ドライブ  
馬の手入れ

### 好きなもの

動物全般  
(特に大型動物)  
大自然  
ラーメン

## ● 環境省への志望理由

美しい日本と地球を未来に残したい、という思いで志望しました。公益を最優先に、人と自然を守るというミッションを掲げている環境省でなら、自分が強い危機感をもっている環境問題を根本から解決することに貢献できる、と考えました。また、説明会や官庁訪問でお会いした職員の方々がとても魅力的で、この環境で働きたい！と強く思ったのも大きな決め手でした。

# No.5 あおき（24歳・女）

## ● プロフィール

**試験区分** 農業科学・水産

**大学所在地** 宮城県

**学部/研究科** 農学研究科

**学科/専攻** 生物生産科学専攻

**研究内容** 都市農地のヒートアイランド現象緩和機能と負の生態系サービスの住民の受容

**出身地** 東京都

**部活動** 落語研究会（中高時代）

**サークル** なし



## ● 就活事情

**併願先(民間)** 建設コンサルタント

**併願先(他省庁)** 農林水産省

**インターン参加先** 環境省、建設コンサルタント

### 就活の経験談

当初は公務員志望ではありませんでしたが、インターンなどを通じて関心が高まりました。その過程で、他人との考え方の違いを意識することで自分の考えも明確になりました。

## ● プライベート

### 趣味/特技

ドラマ・映画を見る  
こと

### 好きなもの

お笑い、料理

## ● 環境省への志望理由

研究を通じて、人々がさまざまな環境に価値を見出していることを実感し、こうした潜在的な価値を踏まえて多様な環境を保全するには何が必要かを考えようになりました。民間企業や地方公務員にもより地域や現場レベルで対応できる良さがありますが、長期的かつ多分野にわたって関わられる環境省に魅力を感じ、志望しました。

# No.6 釣り人 (24歳・男)

## ● プロフィール

試験区分	農業科学・水産
大学所在地	岩手県
学部/研究科	総合科学研究科
学科/専攻	農学専攻
研究内容	初冬直播き栽培におけるハタネズミ 被害量の推定
出身地	京都府
部活動	なし
サークル	ツキノワグマ研究会



## ● 就活事情

併願先(民間)	公益社団法人、環境系コンサル企業
併願先(他省庁)	農林水産省、原子力規制庁
インターン参加先	

### 就活の経験談

自分が経験したことから得た教訓や考えをしっかりと志望動機に繋げることが重要だと感じました。民間の就活も、官庁訪問前の良い経験になったと思います。

## ● プライベート 趣味/特技

登山・釣り

## 好きなもの

動物（特に猫）

## ● 環境省への志望理由

動物に対する興味から環境問題を知り、環境省を目指すようになりました。しかし、大学では農学分野を学んでいたため、自分が学んできたことを活かせる農林水産省と迷いました。官庁訪問を行っていく中で、環境問題について取り組んでいきたいという気持ちの強さを改めて実感し、最終的には環境省で内定を頂くことに決めました。

# No.7 ブン・ウパス（24歳・男）

## ● プロフィール

試験区分	教養区分
大学所在地	京都府
学部/研究科	アジア・アフリカ地域研究研究科
学科/専攻	東南アジア地域研究専攻
研究内容	インドネシアの高原地域における霜害と盆地気象の関係
出身地	埼玉県
部活動	バスケットボール
サークル	スクーバダイビング



## ● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	経済産業省
インターン参加先	経済産業省

### 就活の経験談

博士課程進学と迷いましたが、官庁訪問を経て就職を決意しました。学部時に公務員試験に合格していたため、大学院では研究と就活を両立できました。

## ● プライベート 趣味/特技

外国の言葉を  
勉強すること

## ● 好きなもの

旅客機・縄文土器

## ● 環境省への志望理由

環境問題は社会の脆弱な部分にこそ、より深刻な影響を及ぼすという点に問題意識をもち環境省を志望しました。公害対策を原点に、地球温暖化対策や生物多様性の保全など、幅広い分野へと役割を広げてきた点にも大きな魅力を感じました。他省庁とも迷いましたが、官庁訪問の待合室でエアコンの設定温度が高いのを見て「ここだな」と思いました。

# No.8 あかちゃん（22歳・男）

## ● プロフィール

<b>試験区分</b>	教養
<b>大学所在地</b>	大阪府
<b>学部/研究科</b>	現代システム科学域
<b>学科/専攻</b>	環境社会システム学類
<b>研究内容</b>	消化液を用いた褐藻類のメタン発酵 効率化に関する研究
<b>出身地</b>	兵庫県
<b>部活動</b>	環境部
<b>サークル</b>	環境マネジメント推進室



## ● 就活事情

<b>併願先(民間)</b>	建設コンサルタント
<b>併願先(他省庁)</b>	国土交通省・大阪府庁・兵庫県庁
<b>インターン参加先</b>	建設コンサルタント・大阪府庁
<b>就活の経験談</b>	
学部卒ですが、技術系で就活していました。併願していた民間企業は中々選考に進めず苦労しました。	

## ● プライベート 趣味/特技

企業のキャッチフレーズをたくさん知っています！

## 好きなもの

ガンバ大阪が好きです。  
ネラーズラー！



## ● 環境省への志望理由

大学の講義で環境政策や環境アセスメントについて学んでいたことから、環境行政に関心を持っており、就活の軸としては「これから日本に生まれてくる人・自分がまだ出会ったことのない方にも役立てる」ようなスケールの大きな仕事をしたいと考えていました。そんな中で環境省の持つ、今ある日本の豊かな環境を将来世代に受け継いでいくという使命に共感し志望しました。

# No.9 うち (24歳・男)

## ● プロフィール

試験区分	化学・生物・薬学（院卒）
大学所在地	東京都
学部/研究科	先進理工学研究科
学科/専攻	ナノ理工学専攻
研究内容	電気化学を用いたRNA検出
出身地	東京都
部活動	なし
サークル	小説書き



## ● 就活事情

併願先(民間)	素材メーカー
併願先(他省庁)	原子力規制庁
インターン参加先	なし

### 就活の経験談

何度か対面の説明会に来ていたので、官庁訪問時にアウェー感を感じずに済みました。準備は自信にもつながるので余裕のあるうちに進めておくと吉です。

## ● プライベート 趣味/特技

野球、漫画集め  
旅行、小説書き

## ● 好きなもの

高校野球、  
深夜ドライブ

## ● 環境省への志望理由

私は、将来世代が安心して暮らせる環境を守るために、環境省で働きたいと考えました。私が環境問題に強い関心を持ったきっかけは、中学生の頃に「2050年には海中のプラスチックの総重量が魚を上回る」との試算を目にしたことです。地球温暖化も深刻化する中、そのような世界を将来世代に継がせないためにも環境対策に貢献できる仕事を志すようになりました。

# No.10 お米（23歳・男）

## ● プロフィール

<b>試験区分</b>	化学・生物・薬学
<b>大学所在地</b>	東京都
<b>学部/研究科</b>	理学院化学系
<b>学科/専攻</b>	化学コース有機化学専攻
<b>研究内容</b>	B3可変ユニットを利用した 水のみで構造変換する材料の開発 動的機能材料の創製
<b>出身地</b>	千葉県
<b>部活動</b>	将棋部
<b>サークル</b>	入っていない



## ● 就活事情

<b>併願先(民間)</b>	化学メーカーなど
<b>併願先(他省庁)</b>	経済産業省
<b>インターン参加先</b>	なし
<b>就活の経験談</b>	なかなか内定が取れずに厳しい就活となつた。もつと対策できる部分は対策しておけばよかったですと考えています。

## ● プライベート 趣味/特技

将棋・スポーツ観戦

## 好きなもの

将棋・サッカー

## ● 環境省への志望理由

中学受験の際に学んだ四大公害病を通じて、我が国の高度経済成長の裏側で深刻な環境問題が生じた歴史を知りました。その経験から、経済成長は環境保全と両立し得るものであるべきだと考えるようになりました。私は、持続可能な社会を築くためには環境の視点を政策の中心に据えることが不可欠であると考えております。そのため、環境政策の最前線で取り組むことができる環境省を志望いたしました。

# No.11 ゆきおとこ（23歳・男）

## ● プロフィール

試験区分	工学（院卒者）
大学所在地	新潟県
学部/研究科	自然科学研究科
学科/専攻	環境科学専攻
研究内容	耕作放棄水田の土壤乾湿の判別
出身地	大阪府
部活動	競技スキーコース
サークル	なし



## ● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	国土交通省・内閣府、東京都庁等
インターン参加先	なし

### 就活の経験談

4年生のときから細く長く公務員試験対策をし続けた。M1の夏頃から説明会に積極的に参加した。

## ● プライベート 趣味/特技

スキー  
旅行  
登山

## 好きなもの

海鮮  
阪神タイガース

## ● 環境省への志望理由

安心・安全な社会を構築したいと考え国家公務員を志望しました。洪水緩和に関する研究や大学院の講義で訪れた福島での経験などから環境政策を通じた災害リスクの軽減や持続可能な社会の構築に関心をもったことが、環境省を志望するきっかけになりました。また環境省は“環境”という軸をもちつつも、特定の分野にとらわれず、幅広い視点をもって政策の推進に携われる点も非常に魅力に感じました。他省庁とも迷いましたが、官庁訪問が最も楽しかった環境省に決めました。

# No.12 中とろ（24歳・女）

## ● プロフィール

試験区分	化学・生物・薬学
大学所在地	茨城県
学部/研究科	理工情報生命学術院
学科/専攻	生命地球科学研究群 地球科学学位プログラム
研究内容	長期観測に基づくエアロゾル粒子が雲・降水過程に与える影響についての解析
出身地	埼玉県
部活動	長唄部
サークル	エコ活動サークル



## ● 就活事情

併願先(民間)	環境コンサルタント
併願先(他省庁)	気象庁、農林水産省
インターン参加先	なし

### 就活の経験談

修士研究と試験勉強ができる限り両立し、公務員試験を受ける仲間と情報共有して対策をしていました。長い就活になるので息抜きをしつつ就活の軸を明確にしていました。

## ● プライベート 趣味/特技

お笑い動画を見る  
カラオケ  
ピアノ

## 好きなもの

お笑い  
センチメンタルサーカス  
サンリオ

## ● 環境省への志望理由

今を生きる私たちと将来世代にとって安心して住める豊かな地球環境を実現するために、持続可能な社会づくりに貢献したいと考えました。環境問題は社会課題と結びついており、その課題の本質に向き合い、根本的な解決に向けて柔軟な環境政策に携わりたいと考えました。これまでの取り組みを活かして安心安全な環境を適切に管理・維持することと、国内外を問わず新たな環境課題に挑戦することの両輪に携わることができるのも魅力だと感じます。採用イベントや官庁訪問に参加した際の雰囲気にも惹かれました。

# No.13 めんだこ(22歳・女)

## ● プロフィール

<b>試験区分</b>	農業科学・水産
<b>大学所在地</b>	東京都
<b>学部/研究科</b>	海洋生命科学部
<b>学科/専攻</b>	海洋政策文化学科
<b>研究内容</b>	小笠原におけるアオウミガメ資源の利用方法の変遷
<b>出身地</b>	東京都
<b>部活動</b>	うみがめ研究会
<b>サークル</b>	同上



## ● 就活事情

<b>併願先(民間)</b>	なし
<b>併願先(他省庁)</b>	水産庁、厚生労働省
<b>インターン参加先</b>	なし

### 就活の経験談

民間での就職活動をほぼしていなかつたため、内定が出るまでは不安感・焦燥感がありました。また、民間・公務員問わず情報収集は重要だと感じました。

## ● プライベート 趣味/特技

筋トレ  
イラスト制作  
読書

## 好きなもの

スイーツ  
鳥

## ● 環境省への志望理由

環境省の行う政策について調べた際、サークルで教育活動をしていたこともあって環境教育の推進に興味を抱いたことがきっかけです。その後、官庁訪問でお話を伺う中で、脱炭素化技術の社会実装に携わって様々な新しい技術に触れたい、その導入に貢献したいと考えるようになりました。入省したいという思いがさらに強まりました。

# No.14 ペンギン（24歳・女）

## ● プロフィール

<b>試験区分</b>	工学
<b>大学所在地</b>	東京都
<b>学部/研究科</b>	工学系研究科
<b>学科/専攻</b>	都市工学専攻
<b>研究内容</b>	物理的分画を用いた道路塵埃中の 生態毒性原因粒子の探索
<b>出身地</b>	東京都
<b>部活動</b>	なし
<b>サークル</b>	なし



## ● 就活事情

<b>併願先(民間)</b>	なし
<b>併願先(他省庁)</b>	国土交通省
<b>インターン参加先</b>	東京都庁 プラントエンジニアリング

### 就活の経験談

研究との両立が想像以上に難しかったです。一方で早めに国家公務員試験を受験したこと、春の官庁訪問に参加できたことが良かったです。

## ● プライベート

### 趣味/特技

コンピューターゲーム、  
旅行、ギター演奏

### 好きなもの

海、コーヒー

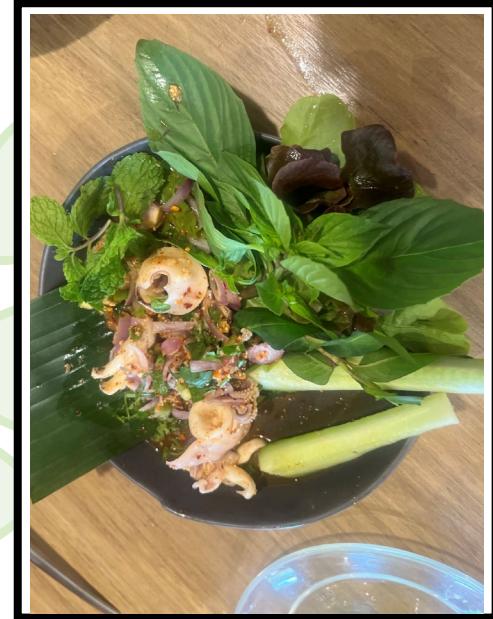
## ● 環境省への志望理由

高校生の頃に地球温暖化を学んだことをきっかけに、漠然と環境問題に関心を持つようになりました。大学で水環境や資源循環について学ぶ中で、将来も環境問題に関わる仕事をしたいと考えるようになりました。また環境省で働く先生や先輩方とお会いしたことをきっかけに、環境省の仕事に興味を持ち始めました。環境省は「環境」を軸に様々な分野に携われる点が、私の関心と最も合致していると感じました。

# No.15 ラープ（23歳・男）

## ● プロフィール

<b>試験区分</b>	工学
<b>大学所在地</b>	東京都
<b>学部/研究科</b>	理 工 学 研 究 科
<b>学科/専攻</b>	都市人間環境学専攻
<b>研究内容</b>	感潮河川を対象とした将来の 気候変動を考慮した塩水遡上計算
<b>出身地</b>	東京都
<b>部活動</b>	なし
<b>サークル</b>	大学祭実行委員会、フットサル



## ● 就活事情

<b>併願先(民間)</b>	なし
<b>併願先(他省庁)</b>	水産庁
<b>インターン参加先</b>	なし

### 就活の経験談

修士1年で、国家公務員試験に合格。特に民間企業の就活を行わず、春の官庁訪問で環境省と水産庁を訪問した結果、無事に環境省から内定をいただいた。

## ● プライベート 趣味/特技

スポーツ観戦  
(サッカー、野球、  
バスケなど)

## 好きなもの

辛い食べ物、旅行

## ● 環境省への志望理由

研究室の方針で国家公務員総合職試験を受験し、修士1年で合格しました。大学院で日本やベトナム、タイの河川を対象に塩水遡上の研究をしていましたこともあり、現地調査を通じてこれらの経験から、国内外の水環境政策に携わり課題解決に貢献したいと考えました。民間企業の就職は考えず、国家規模のスケールの大きい仕事をしたいと思ったことに加えて、「環境」を中心に考えている省庁に行きたかったため環境省を志望しました。

# No.16 どろどろ（27歳・男）

## ● プロフィール

試験区分	化学・生物・薬学
大学所在地	北海道
学部/研究科	生命科学院
学科/専攻	ソフトマター専攻
研究内容	細胞スケールのソフトマターが 往復シア下で生じる運動の機構解析
出身地	千葉県
部活動	なし
サークル	なし



## ● 就活事情

併願先(民間)	なし
併願先(他省庁)	経産省
インターン参加先	なし

### 就活の経験談

修士1年の2月に先輩に誘われて公務員試験を受けました。当初予定通りD進したものの気が変わって就職なので、結構運命的だと思います。

## ● プライベート 趣味/特技

博物館巡り  
/プログラミング

## 好きなもの

実家の犬

## ● 環境省への志望理由

理工系ですがネイチャーポジティブ経済に興味があって志望しました。生物多様性を一体どう経済システムに組み込むんだ！？というところに挑戦し甲斐を感じたからです。自分で具体的な方法が見えているわけではないですが、いろんな角度から環境行政に取り組む中で少しずつ形にしていきたいと思っています。官庁訪問を通して「議論の中で答えを形作っていく気風」を感じたことも理由の一つです。



## 第2部

**公務員試験を知ろう！**



# 第2部 公務員試験を知ろう！

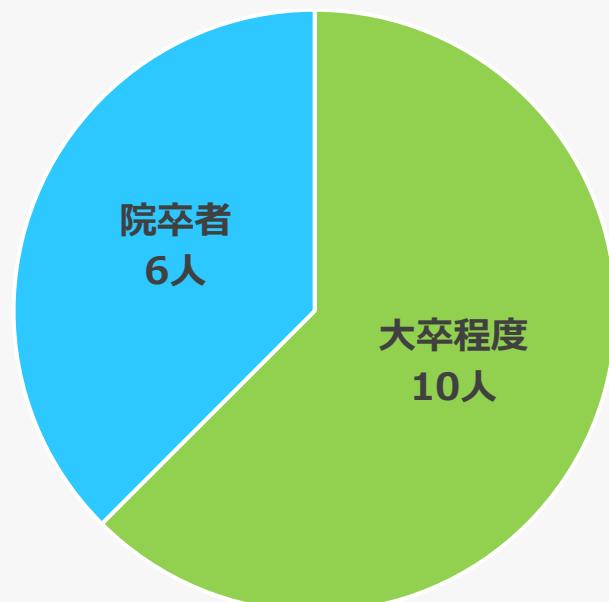
第2部では、内定者16名の国家公務員総合職試験の勉強・対策方法をお伝えします。なお、本冊子に記載している試験方法や内容は、令和8年度入省内定者が受けた試験について述べたものであり、次年度以降の試験とは異なる可能性があります。

また、内定者16人の体験談を紹介しています。勉強方法等は内定者個人の見解に過ぎず、本冊子は参考としてご覧いただければ幸いです。

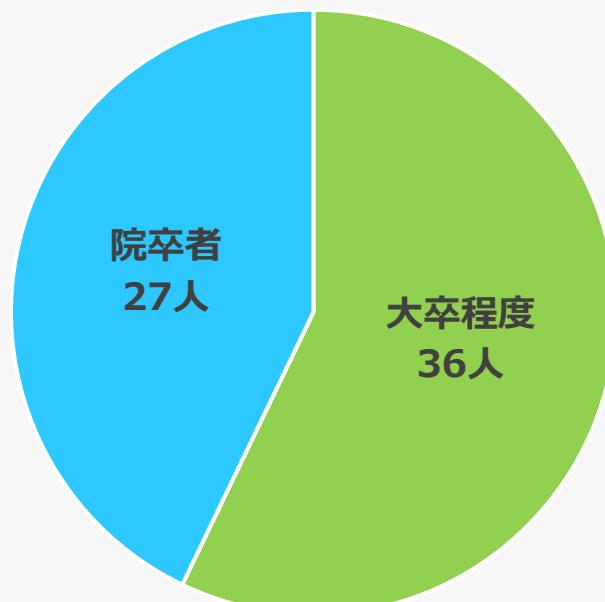
## □ 公務員試験の基本データ

### □ 試験の種類

令和8年度入省予定内定者

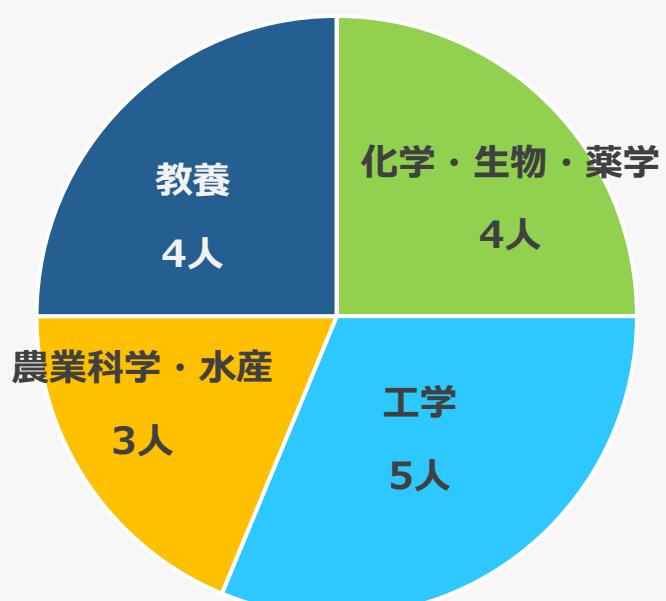


過去5年間

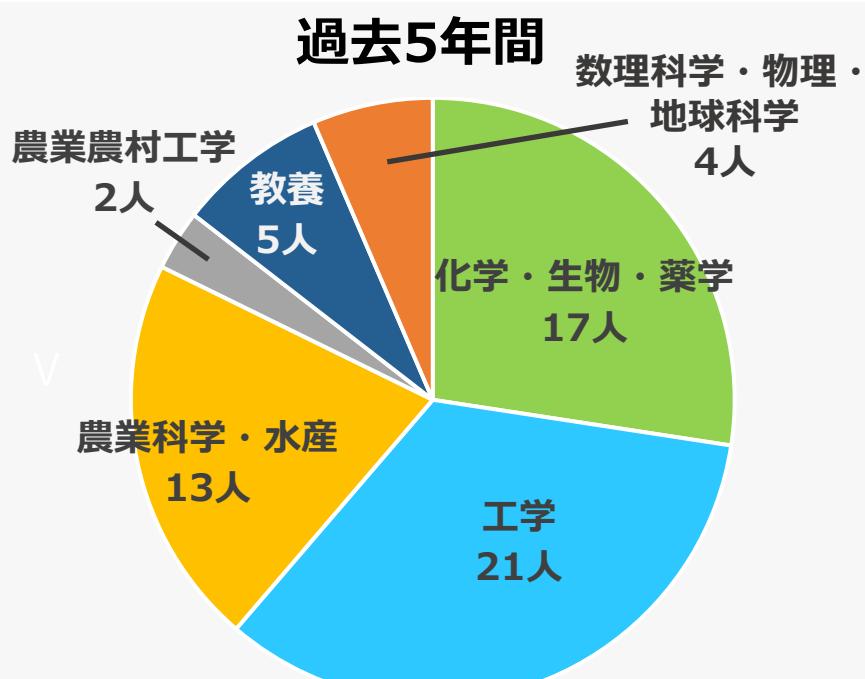


### □ 試験の区分

令和8年度入省予定内定者



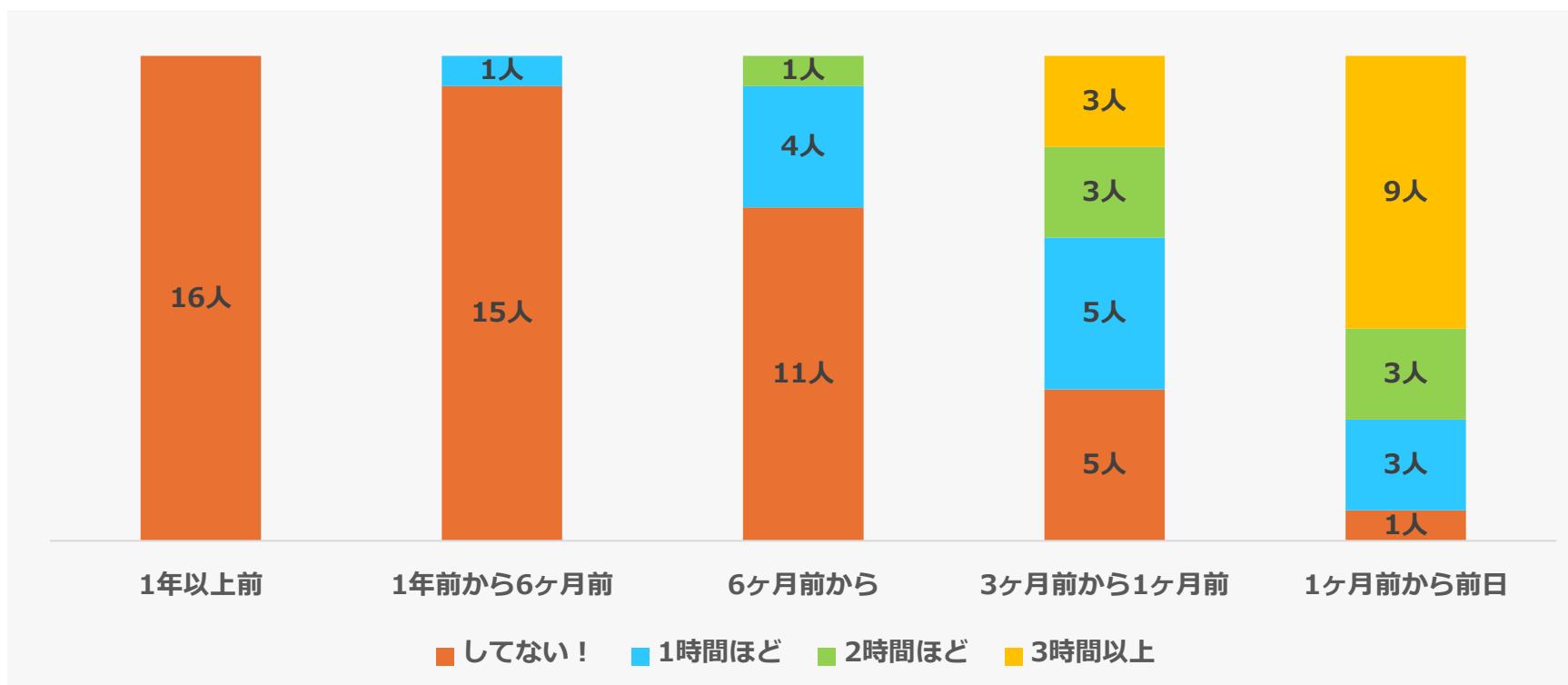
過去5年間



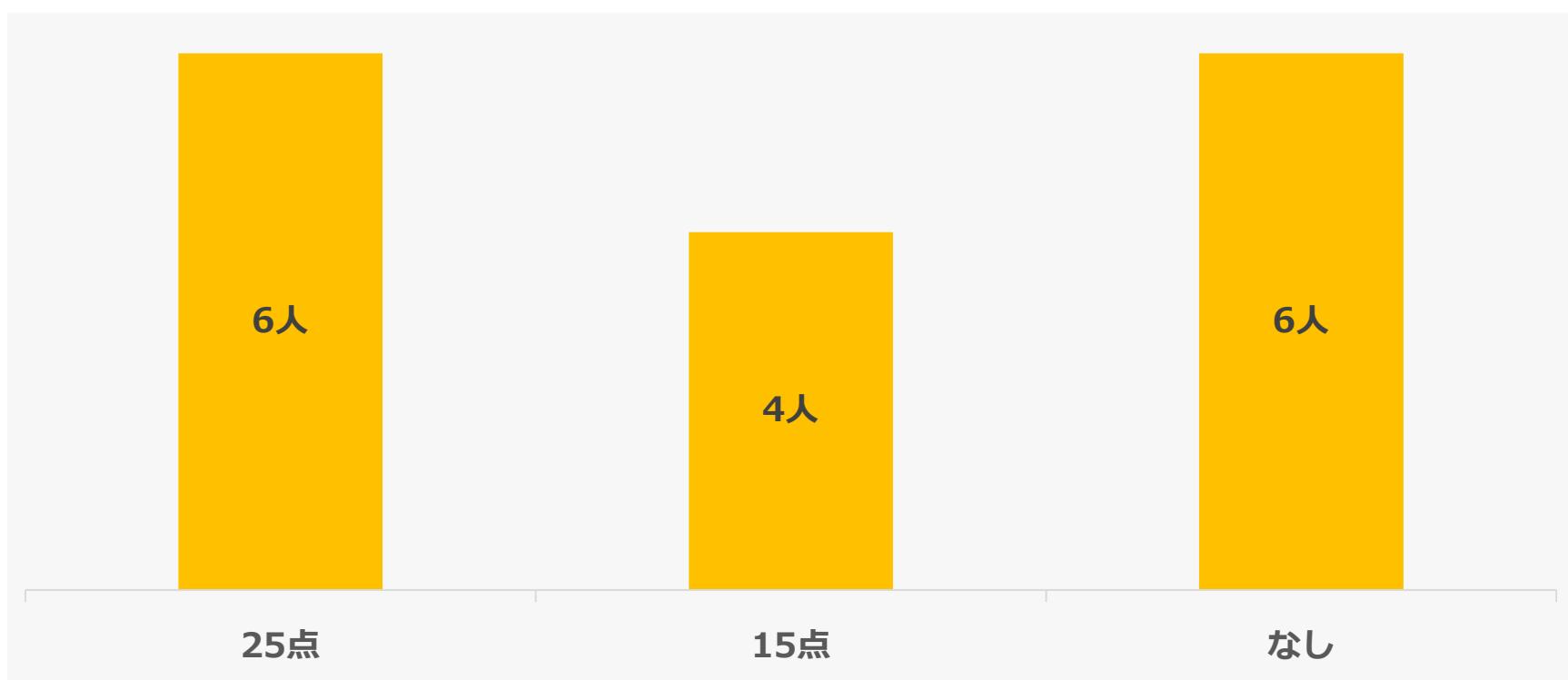
## □ 勉強方法



## □ 時期別の1日あたり勉強時間



## □ 英語の加点



## □ 国家公務員総合職試験の概要

試験区分には、大卒程度試験と院卒者試験の2区分に加え、専門科目による区分が存在します。また、試験は大きく2つに分けられ、「1次試験（マーク式試験）」、「2次試験（記述式試験 + 政策試験 + 人物試験）」があります。これらの筆記試験の過去問は人事院に請求することで入手できます。

2015年度の試験から、所持しているTOEFL (iBT)、TOEIC、IELTS、英検のスコアに応じた得点が試験の総得点に加算されるようになりました。例えばTOEICなら600点以上で15点の追加、730点以上で25点の追加です。詳細は人事院のWebサイトをご確認下さい。

1  
次  
試  
験

### 基礎能力試験

いわゆるマーク式の教養試験で、配点は2/15です。問題は多岐に渡り、国語力や英語力、頭の柔らかさ、知識などが試されます。出題数は大卒、院卒ともに30題です。

### 専門試験（多岐選択式）

選択した専門科目の知識が試されるマーク式の試験で、配点は3/15です。大卒も院卒も共通の40題ですが、試験区分により形式が異なるため確認が必要です。

2  
次  
試  
験

### 専門試験（記述式）

専門科目について記述式で回答する試験で、配点は5/15と最も高いです。基本的には複数の分野から1~2問選択して回答します。理工系においては専用の参考書などはあまりないのと、大学の定期試験、院試、過去問や専門書による勉強が中心となるようです。

### 政策論文（大卒程度）

専門試験と同じ日に行われる試験で、配点は2/15です。出題されたテーマに対し、与えられた3つの資料を使いながら、A4裏表1枚に自分の考えをまとめていきます。配布資料は文章とグラフの両方が与えられ、英語の資料が用いられる場合もあります。

### 政策課題討議（院卒者）

専門試験とは別の日に行われる試験で、配点は2/15です。配布される和文・英文の資料に目を通し、自分の意見などを加えた討論用のレジュメを作成します。グループ全員にレジュメを配布し、意見発表、集団討論、もう一度発表、という手順で行います。

官  
庁  
訪  
問

### 人事院面接

当日までに面接カードを記入して、その内容に沿って質問される個人面接です。配点は3/15です。面接時間はおおよそ10~20分程度で、面接官は3人です。

### 官庁訪問

見事2次試験を突破し、最終合格した人は採用名簿に掲載され、官庁訪問を受けることが可能になります！ 最終合格=採用ではなく、採用されるためには官庁訪問で各府省から個別に内定を得る必要があります。名簿は5年間有効（2022年度までに合格された方は3年間有効）かつ、技術系区分では既合格者向けに追加で官庁訪問の機会もあるため、少しでも興味があれば、前年度から積極的に試験を受験することをおすすめします。

官庁訪問の詳細については第3部で説明します。

# 内定者の声 公務員試験合格の分析 (総合職)

公務員試験合格のために実施した勉強法や、普段の習慣や大学の授業等で試験に役立ったものを紹介します！

## 1. 基礎能力試験（教養）

- ・過去問を活用：5年分1周、8年分1周、2、3年分を3周等
- ・英語と数的を毎日数問ずつ欠かさずに解いていた。
- ・数的処理については、学内講座でもらった過去問を分野別にまとめたテキストを1日10問ほど解いた。1問5分など、時間を意識して問題演習するようにした。
- ・数的処理では、参考書などに載っている定番の図表や計算方法を覚えるようにしていた。
- ・頻出される問題を重点的に解くようにした。
- ・問題に慣れるため、苦手な分野を問題集で演習した。

## 2. 専門試験 多岐式

### 【技術論、工学基礎実験、熱力学、環境工学、材料工学】

- ・記述式で選択する問題を決めて、その他の科目は比較的自分の専攻に近いものを選んだ。
- ・過去問を解いて、公表されている正解の選択肢になるかを確認していた。
- ・工学の基礎は、解説付きの過去問集を購入し、10年分×4周くらい解いた。

### 【土質力学・水理学、環境工学（土木）・衛生工学、構造力学（建築）、土木計画】

- ・基礎能力試験と同様に学校の国家公務員対策講座で入手した過去問で繰り返し練習。
- ・大学の講義内容と重なる問題が出てくるので日頃の講義は非常に大切だと思う。

### 【数学・物理、基礎物理化学・基礎無機化学、物理化学・無機化学、土壤肥料学・環境科学・農薬、遺伝学・進化学、生態学】

- ・6科目をまんべんなく勉強するより、この科目だけは絶対取れるようにと決めて重点的に勉強した。

### 【水産経済学・水産経営学/漁政/漁業学・水産資源学/水産海洋学・水産環境保全/水産一般】

- ・過去問を一通り解いて科目を確認した。その後科目を上記5つに絞って過去問を5年分解き、問題の傾向を分析・過去問で出た制度などの知識を覚えつつ何周か解いた。
- ・最新の水産白書や水産庁ホームページの政策、水産に関わらず国内外の主要なニュースを見て数値の変動や時事問題を確認した。ニュースなどで動向を知っていれば知識がなくても解ける問題がいくつかあったので、時事問題の把握はかなり重要だと思う。

### 【基礎化学、電磁気学、環境工学(土木)・衛生工学、構造力学(建築)、熱力学・熱機関(機械系)】

- ・選択のコツとしては選択可能科目を多くしておくこと。あまり科目を絞りすぎると当日難しすぎて解けない時用の逃げ道がなくなってしまう。過去問に目を通してみると、意外とこの科目解けそうだなというものが結構あるので、そこを探りつつ科目に全般を持つとよいと思う。

### 3. 専門試験 記述式

#### 【熱力学、環境工学】

- とにかく過去問を解いた。ただ、記述式に関しては解答が公表されていなかったので、同じ試験区分を受験する友人と答え合わせを実施。
- 一次試験まで対策できていた時間が短かったので、一次試験の合否を待たずに記述式の対策を開始した。

#### 【家畜繁殖学、家畜生理学】

- 選択する科目は2科目だが、科目ごとの難易度が年によって異なるようなので、当日に問題を見て選べるように3科目分勉強していた。

#### 【農業経営学、食料政策・農業政策】

- 多岐式と同様に、大学の授業資料を中心に復習し、白書で近年の政策などを確認した。
- 受験しようとしていた科目の出題傾向が変わったため、科目を変更して対応したのが功を奏した。

#### 【土壤肥料学・農薬、生態学】

- 過去問を解いてわからない所は調べてノートにまとめたり、過去問の傾向を見て最近出てない所があったのでそこに注力して勉強したりし、過去問ベースで対策した。

#### 【分子生物学・生物工学、生態学】

- 生態学は専門分野ではなかったが、学部教養くらいの基本的なことがわかっているとその応用で答えられるのが良いところだった。もし自分の専門分野の問題を見て用語や知識に少し不安があった場合、選択肢に入れていいと思う。

### 4. 政策討議試験（院卒者のみ）

- テーマが与えられて、それに関連した文章が配られ、それを読み賛成か反対かを簡潔にレジュメにまとめる必要があるので、レジュメの構図はあらかじめ決めておいて良かった。それをもとに複数人と議論をする際、落ち着いて話し合いに臨めたことも良かった。
- 特別な対策は行わなかつたが、授業やゼミで意見を出し合い議論する経験が役に立つた。
- 研究室での議論は普段から積極的、そして建設的な参加をしておくことが一番試験対策にもなると思う。討議に先立って自分の考えをA4用紙にまとめる作業があるが、そこは時間が結構タイト。大きめの字で用紙全体を使って書かれたものの方が見栄えが良いと感じた。

## 5. 政策論文試験（大卒者のみ）

- ・過去問を2回実施。
- ・当日は、論理的な構成を意識し、結論ファーストで作文するよう心がけた。
- ・ネットで「今年のニュースベスト10」や「今年出そうな時事問題」のようなサイトをいくつか見た。長い文章を書くのが苦手だったが、直前で確認したニュースに近い内容が出たこと、文章の要約・問題の分析・解決策の3要素を最低限書いたことが合格に繋がったのかな、と思う。
- ・作問者の意図を理解して、なぜこの3つの論文が紹介されているのか、この3つの論文から、どのような政策が良いと考えているのかを理解して、書いた。引用ができるだけ主張の理由に反映できるようにした。
- ・大学生協の公務員講座で用意されたものを利用。個人的には論理を図解するとわかりやすかった。

## 6. 人事院面接

- ・事前に暗記しないこと、聞かれたことに対して率直に答えること。これに尽きると思う。
- ・面接カードをもとに ChatGPT に想定質問を作成してもらい、その回答を繰り返し作成することで質疑応答の練習をしていました。
- ・面接カードを中心に想定される質問の答えを用意していた。答えた内容を深掘りされると聞いていたので、用意した答えからさらに次の質問を想定していました。
- ・なぜ国家公務員になりたいのか、総合職なのかについて自分で明らかにしていました。自分の研究内容やサークルの話をするときはわかりやすく、かつ簡潔に伝わるように心がけた。
- ・自然体で受けた。緊張はすると思うが、聽かれたことに理路整然と答えられれば問題はないと思った。
- ・ネットで人事院面接の体験記がいくつもあり、想定される質問のリストも見つかったので、それを見て質問への回答をノートに記録して覚えた。対策用に面接官へ渡す用以外に自分用を1枚用意し、事前に予想される質問や回答をメモしておいて、直前まで確認した。

## 7. 勉強に利用してよかつたもの

- ・スーパー過去問ゼミ（「化学」、「農業、農学」）
- ・過去問
- ・「公務員試験 技術系 〈最新〉過去問 工学に関する基礎（数学・物理）シリーズ」（実務教育出版）
- ・「国家総合職 教養試験 過去問500」（実務教育出版）
- ・水産庁ホームページ
- ・ChatGPT→想定質問作成、文章添削用
- ・大学受験で利用した教材

## 8. 失敗談

- ・専門科目を決めたのが、一次試験の1か月前だったこと。かなりギリギリの対策で精神的に良くなかった。
- ・英語の加点のためにも、TOEICなどの受験はしておけばよかった
- ・情報収集が足りていなかった。特に困ったのは専門・多肢選択の試験で、問題選択のルールが複雑だったため、時間を取られてしまった。
- ・人事院面接の際にすぐに面接が終わると思っていたため、飲食物をあまり持ち込まなかつた。待ち時間用に特に飲み物は多めに持っていくべき。

## 9. 成功談

- ・折れずにコツコツ勉強したこと。
- ・思い切って捨てる分野を作ったことで、確実に点数が取れるようになった。
- ・普段の学習を頑張っていたこと。
- ・わからない問題は飛ばして、時間管理を徹底した。
- ・9月ごろに3月までのスケジュールをざっくり決め進めたことで、1ヶ月ほど勉強できない時期があっても余裕をもって試験に臨むことができた。
- ・専門試験多岐式で保険用に解ける科目を多めにした。

# 内定者の声 公務員試験合格の分析 (総合職教養区分)

公務員試験合格のために実施した勉強法や、普段の習慣や大学の授業等で試験に役立ったものを紹介します！

## 1. 基礎能力試験（教養）

- ・公務員講座のテキスト演習や小テストなどで「数的処理」を徹底的に対策していた。
- ・9月ということもあり、大学の公務員講座にて数的処理の例題に一通り触れた程度で受験日に。他分野の問題は大学入試の頃の知識、時事は新聞を読む習慣が幸いし回答することができた。
- ・慣れが必要だと感じた数的処理・判断推理については、「国家総合職 教養試験過去問500」で問題をつまみ食いした。「公務員試験 速攻の時事」は移動中などに一通り目を通した。
- ・I部の判断・数的推理の対策を主に行つた。公務員講座のテキストに載っている問題を時間を計りながら解いた。II部は範囲が広いのとI部より配点が少ないので過去問を少し見ただった。本番ではI部は時間が足りないため、まず文章理解(国語・英語)と資料解釈を確実に解き、その後に判断・数的推理の簡単な問題から解くようにした。

## 2. 総合論文試験

- ・新聞を毎朝読むことを習慣づけており、時事には自信を持っていた。加えて、「結論ファースト」「複数の具体例を挙げる場合文章量をそろえる」「文末の表現はなるべく変える」の3点を意識していた。
- ・時間に余裕があったため、文章の読みこみと要約を丁寧に行った。特に英文はパラグラフリーディングを意識した。持論を展開する部分では様々な主体の目線から見た効果や課題を提示するなど、多角的な見方から論じるように心がけた。
- ・内容としては与えられた資料を要約した後に、「国・行政官としてどう考えるか」を意識して自分の意見をまとめた。

## 3. 企画提案討議

- ・当日までに白書を指定の章以外も一通り目を通し、現状の課題と取り組み内容をまとめた。また、想定される主体を企業や個人などに分け、それぞれに対する政策とそれに対するインセンティブを検討した。実際の企画提案練習としては、公務員講座の講師の方との面談や対策会にて一連の流れの練習を行った。
- ・事前に資料が公開されるのでそれを一通り読み、プレゼンシートを書く練習も何回か行った。
- ・人にプレゼンを聞いてもらったり、質疑応答をしてもらう練習をしなかったので本番では鋭い質問に上手く答えられなかっただ場面もあった。できれば人と一緒に練習しておくと安心だと思う。

## 4. 政策課題討議

- ・省庁の主催する政策シミュレーションなどの採用イベントにグループディスカッションの対策として参加。レジュメ作成の際は、まず立場を明確にしたうえで、双方のメリットデメリットについてまとめ、なかでも短期と長期の視点を持つことを大切にした。
- ・他省庁の説明会で出会った教養区分の受験予定者とオンラインで集まり、3回ほど練習した。
- ・当日は周囲の方の意見を踏まえつつ発言することを心がけた。また、ディスカッションが冗長になってきた際に話題を変えたり、まとめに入るタイミングを提案したりするなどディスカッション全体を考えた発言ができると高評価につながると思う。

## 5. 人事院面接

- ・エントリーシートを読み込んで、ここに書かれていることは何を聞かれててもいいような心積もりをして向かったが、当日予想外の質問が飛んできて驚いた。
- ・就活用のノートを作成し、自分が今まで何に関心を持って、どんな体験を重ねてきたのか自己分析を行った。
- ・村木厚子さんの「公務員という仕事」を読み、国家公務員の解像度を高め、志望理由を練った。
- ・オンラインでの面接練習に参加した。面接カードの添削をしてもらえるのであればした方が良いと思う。

## 6. 勉強に利用してよかつたもの

- ・xKasumi (<https://www.xkasumi.com/>)
- ・公務員講座の参考書 (LEC東京リーガルマインド『Kマスター数的処理』)
- ・「国家総合職 教養試験 過去問500」
- ・「公務員試験 速攻の時事」
- ・「政策立案の技法(第2版): 問題解決を「成果」に結び付ける8つのステップ」
- ・「公務員という仕事」村木厚子著
- ・公務員講座のテキスト

## 7. 失敗談

- ・確実に合格するべくもっと情報を集めて動けばよかったです。
- ・学外の人でも参加できると終わった後に知ったため、国家公務員の合格者を多数輩出する大学が組織的に持っている自主的な勉強会の持教養区分2次対策会に参加すればよかったです。
- ・時間配分などの計画も全くなしに挑んだため、落ち着いて問題に取り組めなかった。

## 8. 成功談

- ・政策課題討議で一緒になった方々と仲良くなり、官庁訪問対策や相談をする人脈づくりができた。
- ・研究やサークル活動をおろそかにせず、最小限の準備で試験に合格できましたこと。
- ・独学ではあったが、予備校に通う友人から情報を教えていただいていたこと。
- ・受験すると決めてから短期間で集中して対策できた。



## 第3部

公務員試験を知ろう！



# 第3部 官庁訪問を知ろう！

第3部では、経験しなければなかなか掴めない官庁訪問の実態をお伝えします。前半では、環境省の官庁訪問の基本的な情報を、後半では、内定者による官庁訪問についての座談会をまとめています。訪問前のイメージトレーニングにお役立てください。なお、掲載している情報はあくまで令和7年度官庁訪問における経験で、来年度以降の官庁訪問のシステムや内容は以下と異なる可能性があります。

## ■官庁訪問（総合職）の基本情報

令和7年度官庁訪問は、春季（6月上旬）と夏季（6月中～下旬）の2度実施されました。環境省では、第1クールのみ対面形式とオンライン形式の選択制、第2クール以降は対面形式で実施されました。春季は、技術系区分の既合格者を対象として6月上旬に全3クール、夏季は、6月中旬から下旬にかけて全4クールで実施されました。最新の詳しい官庁訪問の日程やルール等は、人事院のWebサイトでしっかり確認しましょう。以下、官庁訪問の流れや面接、服装、基本データなどについてまとめます。

## ■官庁訪問（総合職）の簡単な流れ

### 官庁訪問前

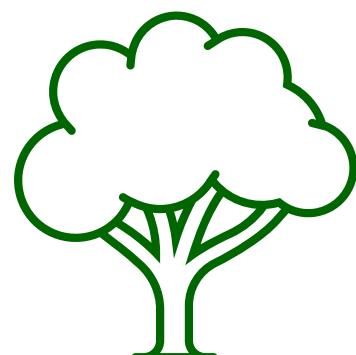
環境省Webサイトから官庁訪問申込票等をダウンロードし、記入します。その後、指定された期間に上記資料を添付してメールを送り、官庁訪問の予約を行います。

### 官庁訪問期間中

令和7年度は、第1クールのみ対面形式とオンライン形式の選択制で実施されました。対面形式の場合は、庁舎の待機室でメールを待ち、メールの指示に従って指定の面接室に移動して面接を受けます。オンライン形式の場合は、通信環境を整え、メールの指示に従ってオンラインルームに参加して面接を受けます。過去には、面接だけでなく集団討論が行われたこともあります。面接は、複数日程に渡り、日によって形式が異なる場合もあるので臨機応変に対応しましょう。

### 官庁訪問最終日

内々定！



## ■官庁訪問（総合職）の面接

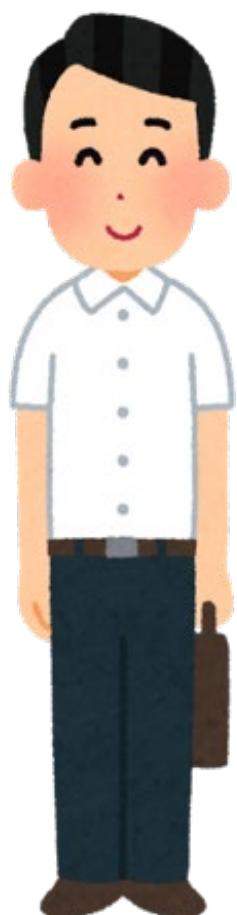
面接回数は人によって異なりますが、複数回行われます。面接では官庁訪問申込票をもとに質問されたり、自己PRを求められたりします。加えて、説明会では聞けない具体的な業務内容を聞いたり、政策について議論したりすることによって、しっかりと環境省の業務内容を理解することができます。

時間は1回30分から1時間程度です。面接終了後から次の面接に呼ばれるまで時間がかかりますので、その間は面接の振り返りをしたり、ノートや申込票を見かえしたりして、次の面接に備えましょう。

また官庁訪問終了時刻は官庁によって異なりますが、環境省は比較的早い時間に終了します。

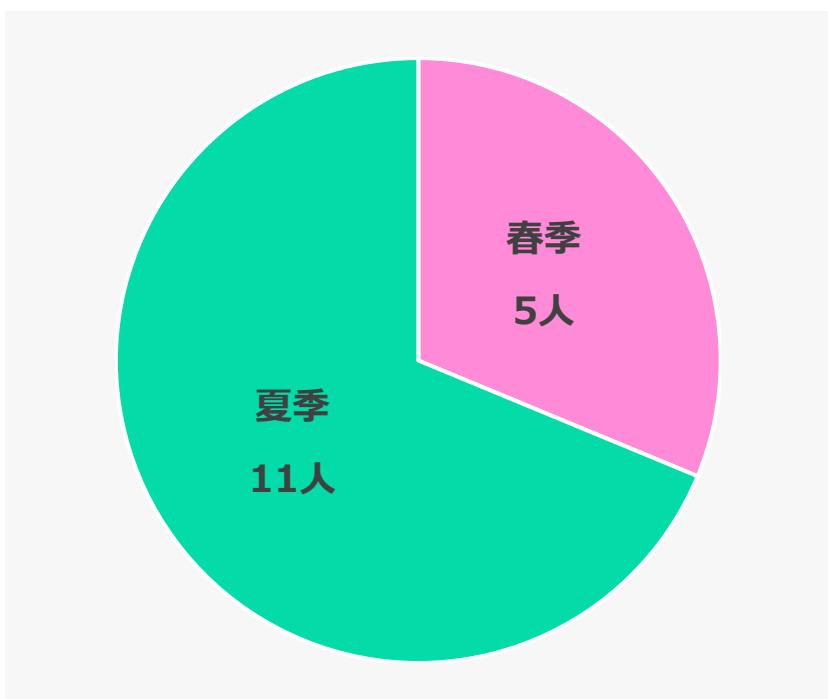
## ■官庁訪問（総合職）の服装

官庁訪問はクールビズ期間中に実施されることが多く、軽装が推奨されています。そのため、志望者も半袖シャツを着たり、ネクタイを外した状態で面接を受けることが可能です。もちろん、温度調節や気持ちの切り替えのため、ネクタイやジャケットを着用しても大丈夫です。

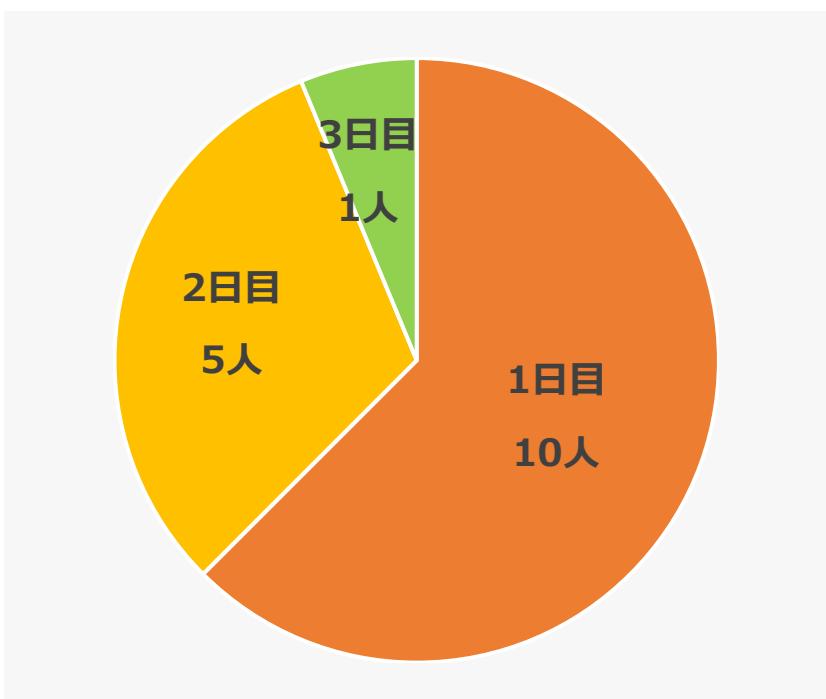


## ■官庁訪問（総合職）の基本データ

### 官庁訪問時期



### 環境省の初回訪問日

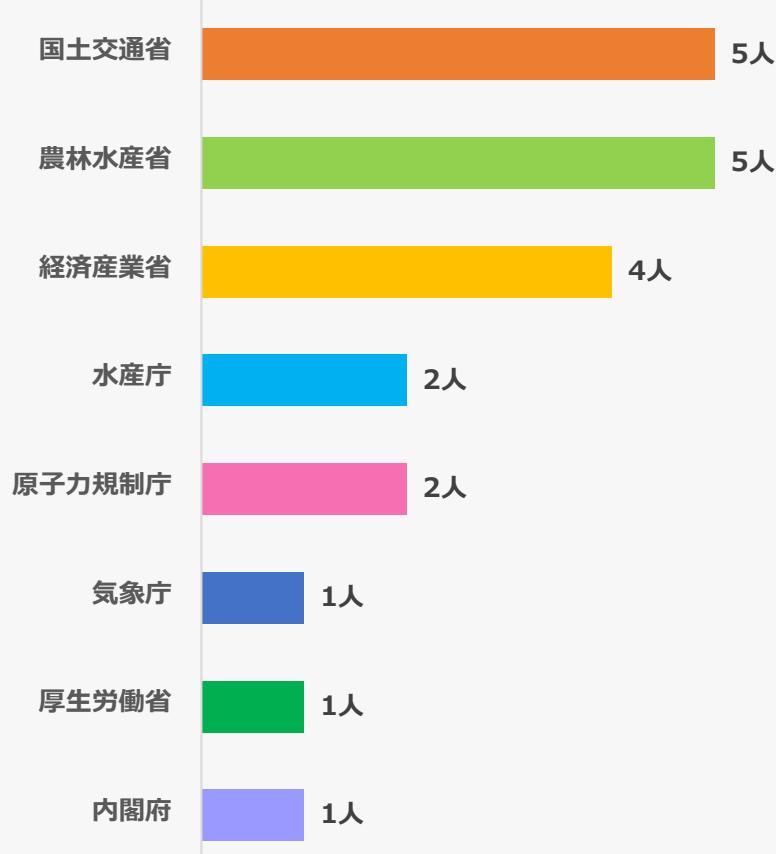


### 説明会参加人数

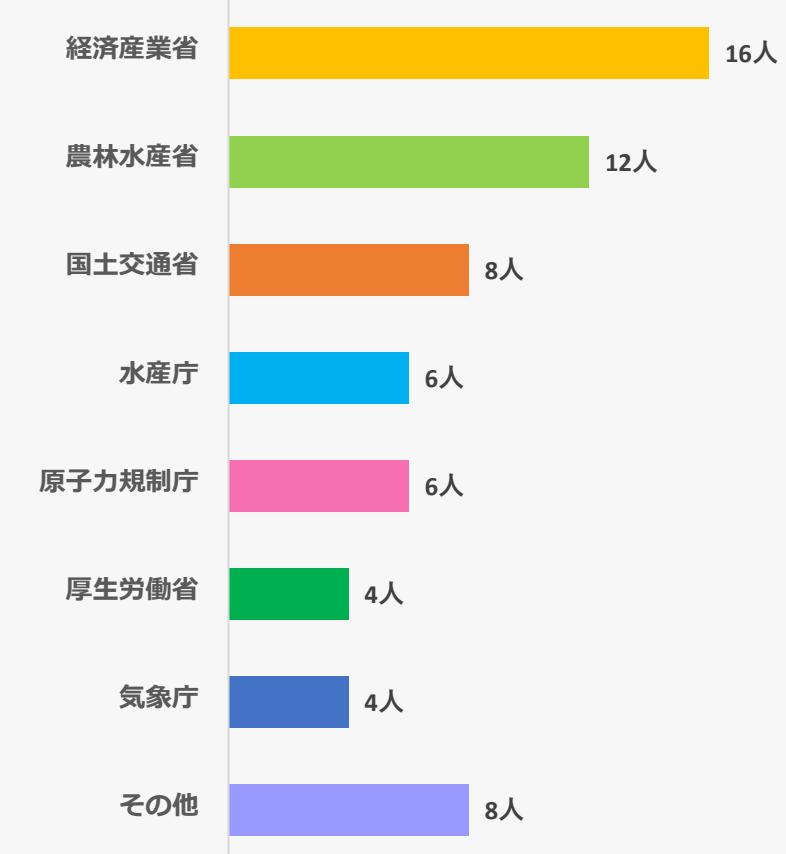


### 併願した省庁

#### 令和8年度入省予定内定者



#### 過去5年間



## 主な併願進路

### 令和8年度入省予定内定者

- ・都道府県庁
- ・市役所
- ・国家一般職
- ・素材メーカー
- ・建設コンサルタント
- ・修士課程進学
- ・博士課程進学 等

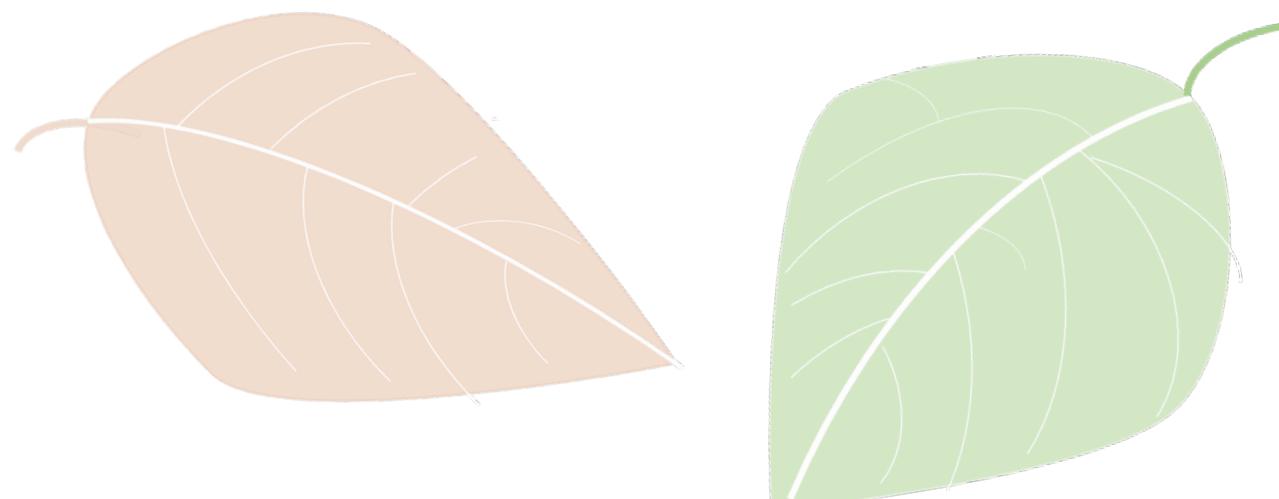
### 過去5年間

- ・都道府県庁
- ・市役所
- ・国家一般職
- ・国立研究開発法人
- ・独立行政法人
- ・シンクタンク
- ・電力会社
- ・自動車会社
- ・エネルギー系商社
- ・コンサル（環境系、他）
- ・IT企業
- ・ソーシャルビジネス

ここまで、官庁訪問の概要や基本データについて記してきました。いかがだったでしょうか。

それでは、次のページから座談会のパートになります！

令和8年度入省予定内定者5名により、官庁訪問の準備や官庁訪問中の様子などについてお伝えできればと思いますので、ぜひお楽しみください♪



## ■官庁訪問参加者による座談会

### 座談会メンバー

釣り人：24歳/男性/京都府出身

お米：23歳/男性/千葉県出身

うち：24歳/男性/東京都出身

中とろ：24歳/女性/埼玉県出身

ぺんぎん：24歳/女性/東京都出身

### [1] 官庁訪問に向けた準備

釣り人：面接力カードに対して**どんな質問が来るかを考えておく**のと、興味のある分野について環境省が出しているパワポ等の資料を見てちょっとだけ勉強した、って感じです。

お米：自分は、前日に他省庁に落ちちゃった上、民間の内定もなかつたので、だいぶメンタル的にきてて……。準備できる精神状態じゃなかつたので、あんまり環境省に向けた準備はしてないんですけど、ちょっと開き直って、聞かれたことに純粋に答えよう、みたいな気持ちでいました。

ぺんぎん：心の準備みたいな感じですね。

うち：自分は逆に、ガチガチに準備した方だと思います。**オンライン説明会**にもかなり参加して、勉強したり、聞きながら**自分の興味関心を振り返ったり**。民間含め就活を始めたときから、**自己PR**に使えそうな出来事や、それをうまくアピールする言い方を考えたりしていました。他には、環境省ではないんですけど、職員さんと知り合いだったので、**面接の練習相手**になってもらいました。官庁訪問前日は、**チャットGPT**で政策の話をブラッシュアップして、見返したりしていました。

中とろ：すごくちゃんと準備されてたんですね。私も、オンラインのイベントにはなるべく参加するようにしました。官庁訪問の直前期は、**白書を読んでいました**。試験から官庁訪問までが短くて全部は読めなかったんですけど、興味のあるところは読みました。

ぺんぎん：私も説明会はかなり参加しました。あとは、**OB・OG訪問**も利用しました。白書については、文章を読むのが苦手だったので、**概要版**みたいな、スライドのやつをさっと見て、気になったところをネットでさらに調べる、みたいな感じで進めてましたね。

## [2] 官庁訪問中の生活

**釣り人**：自分は遠方なのでホテルで生活していたんですが、気が休まらないし、費用も嵩んで大変でした。

**お米**：遠方からだときついですよね。自分は実家から通えたので、費用とかはそこまで考えず、ゆっくり過ごせたかなと思います。緊張するタイプなので食事量はだいぶ減りましたが……。

**うち**：自分も実家からです。食事は、せっかくなので合同庁舎26階の中華レストランに行ってきました。

**中とろ**：私も実家です。官庁訪問中はけっこう一喜一憂していたので、家族に話を聞いてもらっていました。

**お米**：誰かに話聞いてもらいたいですもんね。

**ぺんぎん**：私は、実家は東京なんですけど、心配性で……。電車が遅れるとかが怖かったので、近くのホテルに宿泊していました。あと、官庁訪問は春季だったんですが、5日間連続で2省庁回ったのでかなり疲れました。

## [3] どのような服装・持ち物で訪問した？

**釣り人**：基本スーツで、クールビズだったのでネクタイとジャケットはなしで行きました。持ち物は面接力カード、メモ帳、筆記用具くらいです。第2クールからは、第1クールで面接中に書いたメモとかも。軽食はいつも合同庁舎地下のコンビニで買ってました。

**お米**：持ち物は大体一緒です。

**うち**：服装は同じく完全クールビズです。ただ、周りはわりとジャケットかネクタイ、どちらかはつけてきている人が多かったと思います。第2クールでは両方ない人も少し増えましたが、ジャケットを着ている人はそれなりにいました。

**中とろ**：持ち物は皆さんとほとんど同じです。基本的に面接の空き時間は、直前の面接のことをノートにまとめてたので、ノートはあって便利だったかなと思います。服装はクールビズで、面接の時も、ほとんど上着は着ていませんでした。

**ぺんぎん**：ノートは面談の時にメモをとったり、復習に使うために必須でしたね。服装は、半袖シャツの上にジャケットを着ていました。

## [4] 官庁訪問で困ったことは？

釣り人：自分は3省庁訪問したのもあって、スケジュールがギチギチでした。毎日違う省庁へ行くので、その度に頭を切り替えないといけないのは大変でしたね。あとは遠方なので、費用がかかるのはやっぱり困りました。

お米：自分も似ていて、別の省庁へ行くときの切り替えには苦労しました。あとは、環境省の志望順位を正直に第2希望と書いたので、そこの部分を聞かれると困りましたね。

釣り人：志望順位はちょっと難しいですよね。

うち：自分は、聞いてはいましたけど面接の間隔が短かったので、気疲れしないようにすることを意識するのが大変でした。あと、面接官によって聞かれることとか、話の展開が違うので、一つひとつちゃんと対応していく必要があるかなと思いました。

中とろ：私は、面接の待ち時間が結構長かったので、不安になったり、集中力が切れちゃったりしました。でも、面接官の方々がそれぞれ違うふうに見てくれてる感じがしたので、あまり深く考えないように、一回ごとに切り替えて面接を受けました。

ぺんぎん：私も皆さんと一緒に、連日訪問する省が変わるたびに頭を切り替えるのが大変だったのと、面接の回数が多かつたのも大変でした……。

## [5] どのようなところが高く評価されたと感じた？

釣り人：面接官の方と1対1でディスカッションをしたときに、早めにレスポンスできたのが評価されてるかな……と。実際にそう言っていただけなので、そこが一番評価されたと思います。ディスカッション力求めてくるような面接が何回かあったな、っていうのは感じました。

お米：やっぱりディスカッション力が高いと評価も高くなりますよね。自分は、研究室とかをしっかり考えて選んでいたこと、あと、面接官の方が同じエレベーターに乗っていたらしく、自分が降りるときに扉を開けてくれた人にお礼を言ってたのが好印象だったと言われました。

うち：日頃の行いが大事ってことですかね……。自分は、面接官の方から、レスポンスが早く内容もきっちりしている、聞いた話を吸収して、それに対して自分で新しく考えている、と言われました。（→）

**うち**：(→)やっぱりディスカッションが結構重要というか、見られている点なのかなと思います。あと、研究の話を簡潔にわかりやすくまとめて、という質問がありますが、省庁で働いていると詳しくない人に専門的な話をすることがあり、その際は簡潔にまとめる必要があると聞いたので、そういうところも評価点かと思います。

**中とろ**：個人的には、面接カードに書いてあることだけにずっと固執するんじゃなくて、面接でどんどん新しい視野を吸収して次の面接に繋げるっていうのを大切にしていました。

**ぺんぎん**：私は、事前調査をやっていたところが評価されたかなと思いました。環境省の政策や説明会の資料を復習したりとか。あと、官庁訪問で色々な分野に関心を持ってたところがよかったです、みたいなことを言われた気がします。職員の方からお話を伺う中で、知らないことも多かったですが、たくさん質問をするとか、**学ぶ姿勢も評価されるんだ**と思います。

## [6] どのようなところが不足していたと感じた？

**釣り人**：面接で、これからどういう政策を進めていくべきか、という話をしたときに、それは本当に実現できると思う？って聞かれて詰まってしまって。**政策の内容だけじゃなくて、それを実現する方法までしっかりと考えておかないといけなかったな、**と感じました。

**お米**：わかりますね……。僕も同じことを聞かれて、結構きつかったです。あとは、思い込みで話を進めてしまうところがあるので、ディスカッション能力も足りなかつたかなと感じます。

**うち**：自分は、ざっくりした認識でディスカッションをしてしまったの反省しています。バイオマス発電の議論をしたときに、針葉樹と広葉樹で適性が違うらしいんですけど、どちらも「木」で一括りにしてしまっていて。今後はもっと細かく考える必要があると感じました。

**中とろ**：私も、政策をどう実現するか、という問い合わせに対しては抽象的な回答になってしましました。**政策を実現する際のアプローチ**(規制緩和、補助金、優遇、禁止など)が勉強不足だったと思います。

**ぺんぎん**：私も政策の実現について、勉強不足だったなと感じました。あと、プレゼン力も不足していたと思います。志望動機や自己PRをもっとスラスラ言えるように練習しておけばよかったです。

## [7] 最後にひとこと！

**釣り人**：官庁訪問は、結局は**体力とメンタル**の勝負だと思います。当日にしっかり自分の力が出せるよう、体調などを整えていくことが重要です。

**お米**：僕自身もそうなんですが、もし今、一度もイベントに出ていない、という人がいても**諦めないでください**。自分の能力をしっかり伝えることができれば、ちゃんとそれを評価してくれます。あとは、日頃の細かな行いに気をつけると、思わぬところで合格に繋がったりします。

**うち**：自分は、逆になっちゃうんですけど、準備がかなり活きました。**思い立つたらその時から準備していくのがいい**と思います。本番はあまり不安がらず、**自分を持って面接に挑んでください**！

**中とろ**：官庁訪問では、業務や政策だけでなく、**職員さんの人柄だったり、職場の雰囲気を知ることができます**。働いてるイメージや、ここで働きたいという気持ちを持つて機会もあると思うので、ぜひ**楽しんでください**！それがいい結果にも繋がると思います。

**ぺんぎん**：環境省は面接が長いとも言われますが、逆に言えば、**たくさんの中間の方と話せる貴重な時間**です。一つ一つの面接を大切に、素直な心で挑むのがいいと思います。

## おわりに

最後までご覧いただき、ありがとうございました。本書は、諸先輩方のご指導のもと、令和8年度入省予定の内定者が自身の体験を振り返りながら作成しております。内定者たちの生の声を取り入れ、より実際の就職活動に即した内容となるよう努めましたので、環境省を目指している方にお役立ていただくのは勿論、そうでない方が環境省や公務員試験を知るきっかけとなれば幸いです。本書をお読みいただいた皆様にお会いできる日を、内定者一同心待ちにしております。

2025年12月 環境省総合職理工系 内定者一同

